

2016-2017

Result Report

学生三大駅伝 結果報告

第28回 出雲駅伝・第48回 全日本大学駅伝・第93回 箱根駅伝



中央学院大学



4年生の力もあって チームは成長した

かわさき ゆうじ
駅伝部監督 川崎 勇二

学生の立てた目標が「5位」ということで、残念ながらひとつ及びませんでしたが、おかげさまでチーム初となる3年連続のシード権を獲得することができました。全員で「ミスなく」ということを1年間徹底してきても、区間順位にデコボコがありました。ただマイナスをフォローしてくれる選手も現れ、チームの成長を感じています。また4年生は外れた3人も含めて非常にいい仕事をしてくれました。彼らの力があったからこそ、総合6位になったと思っています。私は箱根駅伝で優勝するためにやっておりますが、それに近づいたための努力と、どこにも負けない「箱根への想い」を持って、これからも学生たちとがんばっていききたいと思います。

選手コメント



おおもり れい
1区 大森 澪 法学部3年/関西大学北陽(大阪府)

5位がチームの目標だったので、もうひとつ上にいききたかったですね。直前はいいい練習ができていなくて不安でしたが、思い切って臨みました。来年は2区で流れを変えられるような選手になって、チームに貢献したいと思います。



たかさご だいち
2区 高砂 大地 法学部1年/関西大学北陽(大阪府)

区間1桁を目標にしていたのですが、甘くなかったです。2週間前に体調を崩して、走りの調子が戻りませんでした。気持ちだけでは走れないことがわかったので、今後は練習だけでなく、生活でも甘さをなくしていきたいです。



よこかわ たくみ
3区 横川 巧 法学部1年/中之条(群馬県)

18kmくらいまでは予定通りに行きましたが、順天堂大学の選手を抜いた後に、すぐに抜かれてしまい、自分の勢いがなくなっているのを感じました。今後は自分がチームの中心となって、勝利に導けるようになりたいです。



あら い しょうり
4区 新井 翔理 法学部3年/東京農業大学第二(群馬県)

チーム目標の5位に届かず、悔しい気持ちがあります。自分はずっと故障をしていましたが、そのなかでも区間1桁では走りたいと思っていました。来年は1区から4区で区間賞を獲得しようと思っています。



ほそ や きょうへい
5区 細谷 恭平 法学部3年/水城(茨城県)

本格的な練習ができるようになったのは12月に入ってからでした。上りで駒澤大学に近づいたんですけど、下りで離されてしまい、それがタイム差になりましたね。来年はしっかり練習を積んで、1時間12分台を狙っています。

中央学院大学
箱根駅伝特集ページ

中央学院大学の箱根駅伝レポートや川崎監督、選手へのインタビューによるコラムを掲載中。

CGU箱根 検索

駅伝部公式
Facebookページ駅伝部最新情報は
こちらをご覧ください。
ぜひ「いいね」をお願いします。CGU駅伝部
Twitter箱根駅伝の臨場感あふれるつぶやきや
駅伝部の旬な情報をお届けします。

@cgu_ekiden



連続シードの記録を 伸ばしてもらいたい

さとう ひであき
学 長 佐藤 英明

駅伝部の皆さん、3年連続のシード権獲得おめでとうございます。最終的には総合6位という素晴らしい成績を取めました。これも監督をはじめとしたスタッフ、OBの方々、それから選手諸君の力だと思います。今回4年生は3人の選手が、エントリーされながら本番を走ることができませんでした。ただ、箱根を目指していくなかで、成長できたということをぜひとも実感していただきたい。この4年間で積み重ねてきたものが、今後の人生において様々なかたちで皆さんの役に立つてくれると思っています。今後も箱根駅伝は厳しい戦いが続くと思いますが、川崎監督には、「連続シード権」の記録を伸ばしていただけることを期待しています。



ひぐち りく
6区 樋口 陸 法学部2年/武蔵越生(埼玉県)

個人としてはダメダメで、他の方々に助けられました。特に村上さんの走りは印象に残り、自分もああいう先輩になりたいなと思いました。今回6区でプレーキしてしまったので、卒業するまでに区間記録を塗り替えたいです。



えびさわ ふとし
7区 海老澤 太 法学部4年/水城(茨城県)

4年間やってきたことは出せたかなと思います。故障で外れた兄が給水係を担当して、泣きながら「お前に任せた」と渡してくれたので、それが力になりました。後輩たちは5位と言わず、もっと上を目指してほしいです。



ひろ よしき
8区 廣 佳樹 法学部2年/県立西宮(兵庫県)

監督から「箱根は実力じゃなくて想いぞ！」と声をかけていただきましたが、結果的に自分はその想いが足りなかったと思います。3年目は勝負の年なので、チームを引っ張っていききたい。来年は1区を走りたいです。



ふじた だいち
9区 藤田 大智 法学部1年/西脇工業(兵庫県)

監督から「後半勝負」と言われていましたが、それを意識しすぎて中盤にペースが落ちてしまったのが反省点です。10区の村上さんは同じ高校の先輩としてタスク渡しをしたいと思っていたので、実現できてうれしかったです。



むらかみ ゆうき
10区 村上 優輝 法学部4年/西脇工業(兵庫県)

箱根駅伝の最後はどんな景色が見えるのか。希望したアンカーを任せただけ、ワクワクしながら本番を迎えました。残り3kmで追いつかれましたが、どうにか意地を見せることができました。最後の箱根は幸せでしたね。

出雲駅伝 《総合4位、2°12'8" (45.1km)》

区間	距離	氏 名 (学年)	区間タイム	区間順位	総合順位
1区	(8.0km)	横川 巧 (1年)	23'41"	10位	10位
2区	(5.8km)	新井 翔理 (3年)	17'07"	4位	5位
3区	(8.5km)	大森 澪 (3年)	25'20"	6位	6位
4区	(6.2km)	村上 優輝 (4年)	17'41"	4位	4位
5区	(6.4km)	廣 佳樹 (2年)	18'10"	7位	4位
6区	(10.2km)	高砂 大地 (1年)	30'09"	3位	4位



出雲大社から全20チームがスタート。横川巧(1年)が勢よく飛び出した。

2016/10/10

出雲駅伝 第28回
大学選抜駅伝競走
4位でゴール！
過去最高の
4位でゴール！

生三大駅伝の幕開けを飾る出雲駅伝に2年連続で参戦した中央学院大学。川崎勇二監督は、「いろいろ試したかった」と、海老澤剛(4年)、樋口陸(2年)ら主力をあえて外して、1年生ふたりを主要区間であるスターターとアンカーに起用する大胆なオーダーで臨んだ。

1区に抜擢された横川巧(1年)は他大学のエース級と競り合い、10位で滑り出す。2区の新井翔理(3年)は駒澤大学、順天堂大学、東洋大学、帝京大学、第二工業大学を抜き去り、

5位に浮上した。中盤のエース区間である3区を大森澪(3年)が区間6位と踏ん張ると、4区の主将・村上優輝(4年)が日本体育大学と順天堂大学をかわして4位に。5区廣佳樹(2年)は学生駅伝初出場ながら順位を守った。そして、最長区間の最終6区に抜擢された高砂大地(1年)が頼もしい走りを見せる。7秒差で追いつけてきた駒澤大学・大塚祥平(4年)を引き離して、4位でフィニッシュ。1年生ながら、山梨学院大学のケンア人留学生・ドミニク・ニヤイロ(2年)、日本人学生最強といわれる青山学院大学・一色恭志(4年)に続く区間3位と健闘した。

普段は厳しい川崎監督も「高砂は良かったと思います。向かい風が苦手ですけど、最後は駒澤大学を振り切ってくれましたし、強さを感じましたね」と、将来のエース候補の

2016/11/6

全日本大学駅伝 第48回
対校選手権大会
8年ぶりの
シード権獲得！

月の関東学生連選考会を7位で突破。苦しんで4年連続10回目となる全日本大学駅伝に出場した各校のエース級が集結した1区を大森澪(3年)がシード圏内(6位以内)と7秒差の9位でスタートすると、2・3・4区で好走を積み重ねた。2区横川巧(1年)が國學院大学と京都産業大学を、3区樋口陸(2年)が日本大学と駒澤大学を、4区高砂大地(1年)が東洋大学と山梨学院大学をかわして、3位に浮上する。

不安のあったつなぎ区間も5区藤田大智(1年)が3位をキープ。6区廣佳樹(2年)が駒澤大学に抜かれる



も7区福岡海統(2年)は4位を守り、最終区間へ。アンカー村上優輝(4年)は、山梨学院大学のドミニク・ニヤイロ(2年)にかわされたとはいえ、区間6位と好走して総合5位で伊勢神宮のゴールに飛び込んだ。これは2008年大会に並ぶ過去最高順位。8年ぶりに、シード権を獲得した。出雲に続く好成績だが、万全な状態で迎えたわけではなかった。起用を予定していた海老澤剛(4年)と新

全日本大学駅伝 シード権獲得

《総合5位、5°19'36" (106.8km)》

区間	距離	氏 名 (学年)	区間タイム	区間順位	総合順位
1区	(14.6km)	大森 澪 (3年)	44'09"	9位	9位
2区	(13.2km)	横川 巧 (1年)	39'01"	8位	7位
3区	(9.5km)	樋口 陸 (2年)	27'48"	6位	5位
4区	(14.0km)	高砂 大地 (1年)	41'00"	3位	3位
5区	(11.6km)	藤田 大智 (1年)	35'43"	9位	3位
6区	(12.3km)	廣 佳樹 (2年)	36'44"	8位	4位
7区	(11.9km)	福岡 海統 (2年)	35'29"	9位	4位
8区	(19.7km)	村上 優輝 (4年)	59'42"	6位	5位



中央学院大学

〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451

Tel:04-7183-6501

第93回 東京箱根間往復大学駅伝競走

箱根路に全員の力を
集結した成果！

出雲で過去最高の4位、全日本で最高タイの5位に入った中央学院大学。
箱根はエース格の海老澤剛を欠きながら、高い総合力を発揮。
大学初となる3年連続のシード権を獲得した。

往路:7位・復路:8位 ⇒ 総合:6位
(107.5km、5°38'20") (109.6km、5°37'05") (217.1km、11°15'25")

往路
山上りの5区に
救世主が現る

1区の大森が流れをつくる

2017/1/2

2年連続でシード権を獲得している中央学院大学は、「5位以内」を目指して18回目の箱根駅伝を戦った。前回まで4年連続で1区を務めた瀧滝大記（現・富士通）が卒業。新たにチームに「流れ」を作る役目を託されたのが大森滯（3年）だ。

安定感のある大森で高速レースに対応する作戦だったが、予想に反してスローな展開になった。大森は集団のなかで冷静にレースを進めた。18km付近で遅れ始めるが、その後は踏ん張り、トップの東洋大学と22秒差の8位で鶴見中継所へ。スターターとしての役割を十分に果たした。本人も「調子が悪いなかでは、粘りの走りができたかな」と思います。と自身の走りには納得していた。

2区でルーキーが大苦戦

。花の2区には出雲と全日本で活躍した高砂大地（1年）が抜擢された。しかし、2週間前に体調を崩した影響もあり、

箱根駅伝総合成績

順位	大 学 名	総合記録
1位	青山学院大学	11° 04' 10"
2位	東 洋 大 学	11° 11' 31"
3位	早 稲 田 大 学	11° 12' 26"
4位	順 天 堂 大 学	11° 12' 42"
5位	神 奈 川 大 学	11° 14' 59"
6位	中央学院大学	11° 15' 25"
7位	日本体育大学	11° 15' 39"
8位	法 政 大 学	11° 15' 56"
9位	駒 澤 大 学	11° 16' 13"
10位	東 海 大 学	11° 17' 00"

積極レースも終盤に失速

3区横川巧（1年）は持ち味である攻めのレースを展開した。10kmを28分45秒で通過すると、茅ヶ崎（14・3km地点）で区間トップの快走。18kmまで法政大学、日本体育大学、大東文化大学、東海大学、日本大学、順天堂大学をかわした。

「いつも通り積極的に突っ込んで、



3区横川巧（1年）はハイペースで攻め込み、前の選手を次々とらえていく。



苦しそうな表情で往路のゴールテープを切った細谷恭平（3年）だが、山で4人を抜く快走を見せた。

後半粘るつもりでした。動きは良かったんですけど、18km過ぎの湘南大橋から苦しくなっちゃいました。」と横川。残り約3kmで5チームに抜き返されて、最終的にはひとつアップの13位でタスキをつないだ。

準エース区間で11位に

2区と3区の1年生コンビからタスキを託されたのは、前回も4区を走っている新井翔理（3年）。今季は故障の影響で調整が遅れていたが、出雲駅伝では2区4位という成績を挙げている成長株だ。

13位でタスキを受けた新井はすぐに11位争いに加わり、一時は単独10位にまでランクアップ。最終的には11位でタスキを渡すも、東海大学と大東文化大学を抜き去った。本人は「結果を残せずに悔しい」と話したが、距離延長で、準エース区間」となっ

5区、細谷が4人抜き

た4区で順位を2つ上げる走りは頼もしかった。夏に右中足骨を疲労骨折して、本格的な練習は12月からだったという5区細谷恭平（3年）が、山で驚きの走りを見せる。箱根湯本（2・5km地点）の通過は20番目も、本格的な上りが始まると、その動きが切り替わった。



故障で出場が危ぶまれていた新井翔理（3年）。距離が延長した4区を区間11位でまとめた。

2017/1/3
復路は4年生が
集大成の大活躍

兄からの給水を力に

7区は3年連続で海老澤太（4年）が出走。過去2回は区間11位、同7位と安定した成績を残しており、川崎監督



2年連続で6区を任された樋口陸（2年）。山下りでは駒澤大学と神奈川大学を抜くなどスベチャリストぶりを発揮した。



復路のエース区間である9区に抜擢された藤田大智（1年）は、他校の主力と競り合った。



6区樋口陸（2年）と7区海老澤太（4年）のタスキレレー。ふたりは区間5位同6位と好走した。

箱根では悔しい走り

今年度の学生三大駅伝フル参戦となった廣佳樹（2年）は、チームが重要視する8区で出場。単独7位で走り出して、5位争いの順天堂大学と日本体育大学を追いかけた。

「緊張はなかった」という廣だったが、区間一桁の順位で好走した出雲と全日本と比べて、精彩を欠いた。初めての箱根は区間13位と力を出し切ることができず、「チームが5位を目指しているなかで何もできな

1年生が9区を好走

復路のエース区間である9区を任されたのは藤田大智（1年）。後ろから追い上げてきた法政大学とともに、前を行く日本体育大学を追走した。「チーム目標が5位だったので少しでも順位を上げたかった」というルーキーは日本体育大学を抜いて、単独6位に浮上。鶴見中継所では、法政大学にかわされて順位変動はなかったものの、1年生ながら他大学の主力選手と互角に渡り合った。

8区廣、10区村上優輝（4年）との兵庫県出身リレーを果した藤田。特に村上には高校の先輩にあたり、「ずっとタスキ渡しをしたかった」と今回の継走を素直に喜んだ。

主将・村上が激走！

最終10区は、「混戦になると予想し

箱根駅伝個人成績

区間	距離	氏 名 (学年)	区間タイム	区間順位	総合順位
1区 (21.3km)		大森 滯 (3年)	1° 04' 18"	8位	8位
2区 (23.1km)		高砂 大地 (1年)	1° 09' 50"	15位	14位
3区 (21.4km)		横川 巧 (1年)	1° 04' 57"	12位	13位
4区 (20.9km)		新井 翔理 (3年)	1° 06' 07"	11位	11位
5区 (20.8km)		細谷 恭平 (3年)	1° 13' 08"	3位	7位
6区 (20.8km)		樋口 陸 (2年)	59' 49"	5位	6位
7区 (21.3km)		海老澤 太 (4年)	1° 05' 12"	6位	7位
8区 (21.4km)		廣 佳樹 (2年)	1° 08' 03"	13位	7位
9区 (23.1km)		藤田 大智 (1年)	1° 12' 40"	12位	7位
10区 (23.0km)		村上 優輝 (4年)	1° 11' 21"	3位	6位

のなかでは悔しいです」と村上は満足していなかった。そして、「4年生はふたりしか走っていないけれど、まだまだ上を目指せるチームなのでがんばってほしいです」と後輩たちに、夢を託した。



アンカーを任された主将・村上優輝（4年）。区間3位と激走して、総合6位で大手町のゴールに飛び込んだ。



復路の要である8区を任された廣佳樹（2年）。区間13位と悔しい走りとなったが、7位をキープした。